

日本大学では、FD 活動に学生の声を反映させながら教育力の向上を目指すべく、平成 25 年度より、16 学部 95 学科、短期大学部 4 学科、通信教育部を対象に学生・教員・職員が一堂に会して学生 FD や本学の教育について理解を深め、気軽な雰囲気の中で語り合う「日本大学 学生 FD CHAmmit (ちゃみっと)」を開催しております。

全学規模のイベントとなっており、例年、各学部等から 200 名以上の参加者を得て開催しております。令和 2 年度及び令和 3 年度においては、コロナ禍の影響により、オンライン (Zoom) 開催とし、令和 4 年度はハイブリッド方式、令和 5 年度は完全対面方式が復活いたしました。第 12 回目となる令和 6 年度においては、テーマを「魅力・強みの再発見～日大をどう活かす?～」とし、自分が所属する学部、学科の魅力や強みは何なのか、他学部がもっている授業の魅力や強みは何なのか、それらを把握したうえで自分たちが今後の日本大学の教育、主に授業形態をどのように改善・活かしてしていきたいのか意見を出し合いました。それらを踏まえ、最終的に「学部に望む授業」「全学部に関わる項目」を提案書として作成しました。

学生からの提案を受けて、効果的な教育改善の実現に繋がるよう、医学部および看護専門学校において学生との協議の場を設け、学生・教員・職員の三者で協議した上で「学生への回答書」を作成いたしましたので、御覧いただきますようお願いいたします。今後も医学部および看護専門学校では、教育の質や改善について検討を重ね、より良い教育環境づくりに努めていきます。

令和6年度 学生FD CHAmmiT 学部提案書に基づく学生への回答書

1 学生との協議の場について

実施日	実施内容
令和6年10月16日	医学部では、協議の場について月1回開催の学生生活委員会に学生が参加する機会を設けており、教員とクラス委員の学生、翠心会の学生が協議を行っています。年1回開催される教職員学生懇談会では、より良い学生生活を過ごすために、学生からの提案事項が提出され検討を行っています。また、月1回開催の学務委員会へ学生が参加し、カリキュラム等の学務事項について意見交換が可能となっています。

2 医学部・看護専門学校から学生へのメッセージ

医学部および看護専門学校では、学生さんの意見や希望を尊重しながら、学習しやすく充実した大学生活が送れるよう変革を行ってまいります。これからも、学生さんとの対話を重視し、本学の学びがより良く深くなるよう、学生さんと共に進んでまいります。

3 学部提案書の対応について

「学部に望む授業」の提案について

項目	対応済	対応中	検討中	対応内容
試験・レポートのフィードバックが欲しい。 フィードバックを今後の学習に活かしたい。		○		試験後は回答を配布し、試験後の質問も受け付けています。 また、レポートは学生の人数や日程に合わせてフィードバックを行っています。
教員と学生が対話できる授業を望む。		○		少人数の実習、アクティブラーニングの授業を増やしています。 講義形式の場合は、授業中・授業前後に質問がしやすい雰囲気となるよう授業を運営をしていきます。
授業にて学ぶべき知識について、事前に資料が欲しい。 グループワークや実習前に必要な知識を身につける授業を望む。		○		授業の学ぶべき事についての資料を、できる限り事前に配布します。 グループワークや実習前に、必要な知識を学べる授業を行っています。
先入観にとらわれず公平な視点が持てるように、 ジェンダー平等を学ぶ授業が欲しい。		○		医学部4年次 Clinical skills training講義内で、ジェンダー平等・ダイバーシティについて学ぶ機会を設けております。
新しい学問に触れ、今後にかすため、各分野の専門家を招聘して行われる授業を受けたい。		○		専門家を招聘する授業は現在も実施しておりますが、今後も積極的に行っていきます。

※令和7年4月1日現在の対応内容となっており、今後の状況によって変更する可能性があります。